

# しのめ



～校長室だより～ 「東雲（しのめ）」  
「夜明けの空が東方から徐々に明るんでゆく頃のこと。」東小も明るくなっていくことを願って・・・



だいごう こうちようかわしま としひこ  
第10号 校長 川嶋 稔彦

学校ホームページに子どもの活躍が載っています。是非ご覧ください。

## 「ことばの力」～言霊(ことだま)って～

「ことば」は、わたしたちが毎日使っているものです。「ことば」を使って、自分の思いを伝えたり、相手の考えを聞いたりします。また、友だちを励ましたり、勇気づけたりするのも「ことば」です。逆に、友だちを傷つけたり、自分が傷つけられたりするのも「ことば」ですよ。口で言うだけではなくて、文字に書くのも「ことば」です。手紙やメールで励まされたり、逆に傷ついたりすることもありますよね。

みなさんは「言霊(ことだま)」って聞いたことがありますか？

### 言霊(ことだま)とは・・・

古代日本で、ことばに宿っていると信じられていた不思議な力。また、ことばに宿る霊の意味。

日本では、昔から「ことば」には、ふしぎな力があると信じられていました。「良いことば」を使うと「良いこと」が起こり、「悪いことば」を使うと「悪いこと」が起こると信じられていました。だから昔の人は、できるだけ「良いことば」を使って、生活していました。

このことは、昔も今も関係ありません。今も、「良いことば＝うつくしいことば」を使うことで、どんどん「良いこと」が増えていきます。

逆に、「悪いことば＝わるぐち、傷つけることば」を使うと、「悪いこと」が起きてしまいます。

また、「ことば」は、「話すこと」だけではなく「書く」ことにも、効果があります。学校で自分の将来の夢や目標、めあてを書くことがあります。なぜ書くかというと、「ことば」に書くことで、本当に実現するかも



れない「ことば」の力があるからなんです。

下の写真の人を知っていますか。そう、メジャーリーガーの大谷選手です。



バッター 大谷翔平選手



ピッチャー 大谷翔平選手

大谷選手は、高校生の時にはすでにピッチャーとバッターの「二刀流」をしていました。「二刀流で試合に出たい」と「ことば」を言い続けていました。また、自分の目標を「ことば」で書き込んでいました。(うら面をみてね)

ここでも「ことば」の不思議な力が働きました。高校生の時に書いていた目標を今はほとんど達成しているんです。

東っ子のみなさんも「言霊(ことだま)」を信じて、「うつくしいことば」を使って生活して、笑顔あふれる生活にしませんか。また、目標やめあて、将来の夢を「ことば」で書きこんで、実現していきませんか。

おおたにせんしゅ こうこうせい のとき か じぶん の ゆめ む  
 大谷選手が、高校生の時に書きこんだ「自分の夢」に向かってすべきこと  
 ~マンダラチャート~

大谷翔平 2012

8-8 体のケア	8-1 サツキント をのび	8-2 FSQ 90kg	1-8 インストア改善	1-1 体幹強化	1-2 軸をのびか	2-8 角度をつける	2-1 上からボール をたたく	2-2 リストの 強化
8-7 柔軟性	8-6 体づくり	1-3 RSQ 130kg	1-7 リストポイント の安定	1-6 コントロール	1-5 不安をなくす	2-7 たまない	2-0 キレ	2-3 下半身主導
8-4 スタミナ	8-5 可動域	8-3 朝3杯 朝3杯	1-4 下肢の強化	1-5 体を開かぬ	1-4 コントロール をする	2-6 ボールを 前でリリース	2-5 回転数アップ	2-4 可動域
7-8 おもしろい 目標をも	7-1 喜愛 しない	7-2 頭は冷静 心は熱く	8 体づくり	1 コントロール	2 キレ	3-8 軸でまわす	3-1 下肢の強化	3-2 体重増加
7-7 ピンチに 強い	7-6 メンタル	7-3 雰囲気 流れない	7 メンタル	7 ドラフト 8球団	3 スピード 160km/h	3-7 体幹強化	3-6 スピード 160km/h	3-3 肩周りの強化
7-5 波を スライ	7-4 勝利への 執念	7-4 仲間を 思いやる心	5 人間性	5 運	4 変化球	3-6 可動域	3-5 ライナー キャッチボール	3-4 ピンチング を増やす
6-8 感性	6-1 愛される人間	6-2 計画性	5-8 あいさつ	5-1 ゴミ拾い	5-2 部屋そうじ	4-8 コントロール を増やす	4-1 フォーク完成	4-2 スライタ ンキレ
6-7 思いやり	6-6 人間性	6-3 感謝	5-7 道具を 大切に使う	5-6 運	5-3 審判への 態度	4-7 遅く落差の あるカーブ	4-6 変化球	4-3 左打者への 決球
6-6 礼儀	6-5 信頼される人間	6-4 継続力	5-5 アス思考	5-5 応援される 人間になる	5-4 本を読む	4-6 ストレートと同じ フォームで投げ	4-5 ストレートから ボールに投 げるとコントロール	4-4 実行力を イメージ

高校生の時の大谷選手の夢は、まん中に書いてある「8球団からドラフト1位」でした。そのためどんな力があるのか、どんな生活をすればいいのかをまわりに書きこんでいます。よく見てみると東っ子のみなさんにもできそうなことがありますよ。

**「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋そうじ」「本を読む」「道具を大切に使う」「応援される人になる」「思いやり」「礼儀」「感謝」「愛される人間」「信頼される人間」「雰囲気に流されない」「仲間を思いやる心」**などなど。

校長先生がいつもみなさんに言っている「あいさつ」は、もうできている人もたくさんいます。「ゴミ拾い」もしてくれている人がいます。このようなことを「めあて」として書いたり、ことばにして言ってみたりすると、さらに高い目標に向かうことができるんです。

保護者 様

私は、子どもたちに将来の明るい展望を見させてやりたいいつも思っています。明るい日本社会にしていくのも今の子どもたちです。そのためには、「夢」や「希望」をもたせることがとても大切です。小さなことから始めることでいいんです。よく、「漢字をがんばる」とか「九九をがんばる」といった「めあて」を目にします。そこからでいいと思います。目標を立てて、それをできているかどうか確かめる作業が必要になります。

そこで、学校では「キャリアパスポート」という子どもの成長やめあてを記録したファイルを作っています。キャリアパスポートは、高校卒業まで引き継いでいきます。そこに「ことば」で目標やめあてを書いて、自分自身を振り返ることで、自分自身の成長を促します。

